

○奥野（総）委員 私は、情報開示は誰が責任を持っているんですかという話をした。もっともっと開示しなきゃならない情報もいっぱいあるわけですよ。予算について言えば、もっと細目を開示していくべきだと私は思っていますし、とりわけ決算については、もっと、幾らの単価で発注したのかということまでわかるようにしていくべきだと思っています。

ネットの時代ですから、紙だとこんな分厚くなりますけれども、検索をかければすぐわかるわけですよ。現に、情報開示の指針によって、各省の補助金が誰に幾らいつおりにあるのかとか、あるいは公共事業を誰が幾らで落札しているかというものについては全部ネットで、eガバメントというところで検索できるわけですから、もっと予算、決算の情報についてもさらに充実させていくべきだと思うんです。

予算については、項、事項、目そして各目明細ということで、かなり細かい部分まで出ています。オープンになっていますけれども、決算については、決算の各目明細はたしか出ていないんですね。

決算の各目明細、私はずっと、つくってください、オープンにしてくださいと、民主党政権時代にも、党の部会なんかでも申し上げてきたのでありますけれども、いかがでしょうか。

○山口副大臣 それでは、私の方からお答えをさせていただきます。

今先生御指摘いただきましたように、予算決算及び会計令等の規定によりまして、予算につきましては、もう御案内のとおり、各目まで細分化した明細書を、各省が実は作成をしております。

決算の情報につきましては、国民の皆様方によりわかりやすい形でお示しをすることは大変重要と思っておりますので、決算について同様の明細書を作成することが可能かどうか、実務的な問題も含めて、今、各省とも検討しておりますところでございます。

ただ、決算につきましては、もう先生も御案内のとおり、かなり窮屈な日程の中で決算書等々を作成しております。会計検査院等の問題もございまして、そこら辺も含めて検討させていただきたいということでございます。